

日経平均 VI 先物が大証に上場

大阪証券取引所は2月27日、日本経済新聞社が算出する日経平均ボラティリティー・インデックス（日経平均 VI）を対象とする「日経平均 VI 先物」を上場しました。

日経平均 VI は、投資家が日経平均株価の将来の変動をどのように想定しているかを表した指数です。指数値が高いほど、投資家が今後、相場が大きく変動すると見込んでいることを意味します。2010年11月19日より日次終値ベースで算出・公表を開始し、本年1月30日より、リアルタイム（15秒間隔）での算出に移行しています。

日経平均 VI は、マーケットの下落リスクが高まる局面で上昇する傾向があり、「日経平均 VI 先物」は、相場急変時のリスクに備える商品としての需要があると考えられます。「日経平均 VI 先物」取引についての詳細については、大阪証券取引所のウェブサイトをご覧ください（<http://www.ose.or.jp/derivative/225VIfutures>）。

日経平均 VI の算出方法などの詳細につきましては、本サイトの日経平均 VI の個別指数ページをご覧ください（<http://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225vi>）。

また、大証サイトの「先物・オプションレポート」にて、日経平均 VI のリアルタイム化に関するレポートが掲載されておりますので、こちらの方もあわせてご参照ください（http://www.ose.or.jp/derivative/about_trading/future_option_report?id=383）。